



# 美しい郷へGO!!

美しい郷発 第10号

平成21年11月24日発行

発行：白鷹町美しい郷づくり推進会議

環境ニュース部会

TEL 0238(85)6131

FAX 0238(85)5275

## ごみダイエット成功!!

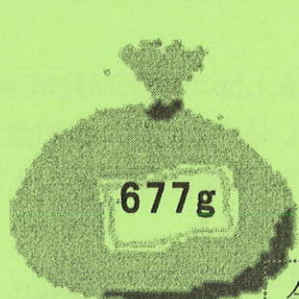
# 意識することでごみが減った!



11月6日(金)、4ヶ月間(7月~10月)ごみダイエットに挑戦した31名の方々が集って“ごみダイエット修了式”が行われました。4ヶ月間計量・記録した表を持参していただき、7月・8月の普段のごみの量と、ダイエットにがんばった9月・10月のごみの量を比較しました。31名中21名の方がダイエットに成功し、減量率の高い方上位10名と、1人1日あたりのごみ排出量の少ない方上位5名が発表されました。

減量に成功した理由として、生ごみは土に返す、紙ごみの分別、ごみが出ないような買い物をするなどの努力をした方が多くみられました。なかには8月のお盆に子供さんやお孫さんが帰省し、その分ごみが増えてしまったが、帰省客が帰ってごみが減ったという方もおりました。育児や介護でごみが多かったり、家族の形態がそれぞれ違う中で、一概に比較するのはむずかしいことです。今回のダイエットモニターをきっかけにしてごみの量を計ったり、もっともっと減らす努力をしようと思った方がたくさんおられました。「白鷹産きらりぼし 100%菜の花油」を参加賞として全員の方に差し上げました。

### ごみダイエット集計結果より



一番多く出されたごみ量  
(1人1日あたりの量)



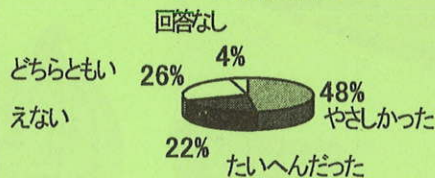
一番少なく出されたごみ量  
(1人1日あたりの量)

今回参加されたモニターの方々は  
1人1日あたり 平均で167gから  
154gにダイエットされました。

### ダイエット講座を受講して



### ごみの減量は?



### モニター終了後は減量しますか?



循環型農業を推進している菅原庄市氏の講演をお聴きする

- ・紙類は雑紙として分別して出すと、かなり可燃ごみが減った。
- ・発泡レーはスーパーの店頭回収に出した。
- ・意識しながら生活できて良かった。
- ・計量・記録して結構ごみを出していることに気がついた。
- ・皆さんがいろいろ工夫していることがわかって良かった。



# フリーマーケット

～リユース(再利用)の輪を広げよう～

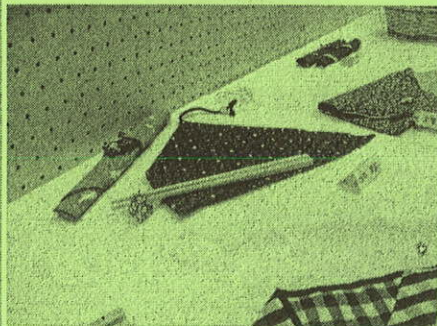
10月25日(日)のフラワー長井線まつりにおいて、「ごみゼロの日」実行委員会の呼びかけで、若いお母さん方のグループを含めて4店のフリーマーケットを出店しました。子ども服をはじめ、おもちゃや文房具・雑貨はもちろん新鮮野菜などたくさん並びました。「似合うかしら、どーお?」「これ本物でしょ!!こんなに安くていいの?」「これとこれと、これ。まとめていくら?もっと安くない?」珍しい野菜は試食もあり、売り手と買い手の会話ははずみました。

家でいらなくなったもの、使わなくなったもの、ごみとして出すのはもったいないものを他の方に!!そんな思いで始めたフリーマーケット。いろいろなイベント会場を利用して、年に2回ぐらい開催したいとのこと。あなたもぜひ出店してみませんか?

## 蚕桑地区公民館文化祭

11月7日、8日に行なわれた蚕桑地区公民館文化祭では、日頃の公民館活動や地域との連携の成果が会場いっぱいに表示されました。

マイ箸作りと箸入れ、古着のリフォームや古着から作った布ぞり、新聞紙を使つてのエコバックなど……。子供たちが作ったたくさんのかぼちゃランタンとエコキャンドルが入口前の駐車場に並べ



られ、星の観察会におとずれた親子づれなど大勢の人々にぎわいました。



## 二つの小学校でプール清掃の準備

水環境部会より 第3弾

蚕桑小学校で、この春に続き10月9日(金)にEM米のとぎ汁発酵液をつくり21日(水)にプールに投入しました。春は投入後二週間ほどでプール清掃をしましたが、今回は冬期間ずっと入れたままにして春に清掃する予定です。また、あらたに荒砥小学校4年生49名もEM米のとぎ汁発酵液をつりました。11月18日(水)に260リットルのEM発酵液をプールに投入しました。



EM発酵液は環境にやさしく、汚れを落ちやすくするのよ。

## ～鮎貝中丸公園中丸池～

10月20日(火)に鮎貝中丸公園中丸池にて、水質浄化を目的として、EM発酵液を混ぜ込んだEM泥だんごを750個投入しました。

さらに水路上部から、EM発酵液400リットルを流し込みました。参加者の方の中には、泥だんごを野球選手のように遠くまで投げ込む様子もみられ、今後の水質浄化が期待されます。



## こんなに集まった廃食用油 4校で180リットルありがとうございました!



家庭からでる廃食用油の回収に、町内の4つの小中学校から協力していただきました。10月28日(水)の朝、東根小学校へ廃食用油を手にした児童が登校してきました。昇降口で待ち受けているところへ、走って駆け寄りニコニコ笑顔で差し出す児童。東中学校や西中学校では、廃食用油がいっぱい入った大きなペットボトルを持ってきた生徒もいました。31日(土)の鮎貝小学校では、朝早く登校した児童が各家庭から廃食用油を持ってきてくれました。また学習発表会を見にいらした保護者の方々も持参してくださいました。おかげさまで4校で180リットルもの廃食用油が集まりました。捨てられるはずの廃食用油。BDF燃料や石けんなどにリサイクルし有効活用します。

